

評価版 DataKeeper for Windows インストールの手引き

本資料は評価版 SteelEye DataKeeper for Windows のインストール操作について、「SteelEye DataKeeper for Windows Server 2003/2008 管理ガイド」の内容をもとに作成したものです。詳細な操作等につきましては、「SteelEye DataKeeper for Windows Server 2003/2008 管理ガイド」も合わせて確認してください。

1. 製品要件の確認環境の確認

DataKeeper をインストールする前に、DataKeeper を使用する上での製品要件を満たしているかを確認します。製品要件につきましては、「SteelEye DataKeeper for Windows Server 2003/2008 管理ガイド」3 ページ～「SteelEye DataKeeper の概要」の「製品要件」を確認してください。クラスタエディションをご利用の場合は 4 ページ～「SteelEye DataKeeper Cluster Edition の概要」の「製品要件」を確認してください。

【重要】DataKeeperをインストールする前にMicrosoftの .Net Framework version 3.5 SP1のインストールが必要となります。詳細につきましては「SteelEye DataKeeper for Windows Server 2003/2008管理ガイド」の15ページを参照してください。

【重要】DataKeeper for Windows Cluster Edison を使用する場合、SteelEye DataKeeperをインストールする前にWindows Serverフェールオーバークラスタで、クラスタを作成しておく必要があります。クラスタを作成する前にDataKeeperをインストールすると、DataKeeper volumeリソースの適切なレジストレーションが行われなため、Windows Serverフェールオーバークラスタ上でDataKeeperボリュームを設定することができません。Windows Serverフェールオーバークラスタでクラスタを構成する設定方法につきましては、マイクロソフトのフェールオーバークラスタに関する情報をご確認ください。

2. サーバ設定の確認

DataKeeperを使用する場合、ファイアウォールの設定変更やローカルセキュリティポリシーの変更などが必要になります。具体的な設定内容については、「SteelEye DataKeeper for Windows Server 2003/2008 管理ガイド」4ページ～「Windows 2008での要件 (DataKeeper および DataKeeper Cluster Edition)」の内容と 8 ページ～「Phase 1 - Windows 2003/2008 システムのインストール準備」の内容と10ページ～「Phase 2 - ファイアウォール設定」の内容を確認して必要な設定を行ってください。これらの設定変更はDataKeeperをインストールした後でも行うことができます。

3. DataKeeper for Windowsのインストールの実行

① ソフトウェアのダウンロード





SteelEye 社よりメールにてお知らせしたダウンロードリンクのディレクトリから SteelEyeDataKeeper をダウンロードします。

(1) インストールプログラム名は `setup.exe` ですので、適切なフォルダにダウンロードしてください。

http://ftp2.steeleye.com/pickup/SteelEye_DataKeeper_Windows_jp_XXXX

(上記 URL はサンプルです。正しい URL はメールをご参照ください)

メールでお知らせした DataKeeper のダウンロードリンクは以下のようになっています。

<u>Name</u>	<u>Last modified</u>	<u>Size</u>	<u>Description</u>
 Parent Directory		-	
 DataKeeperv7.0.3 JP-6/	03-Apr-2009 11:33	-	
 Documentation/	03-Apr-2009 11:33	-	
 EULA.pdf	03-Apr-2009 11:33	95K	

DataKeeper v7.0.3 JP-xx ディレクトリから `setup.exe` をダウンロードしてください。


Documentation ディレクトリには日本語版ドキュメント(管理ガイドおよびリリースノート)が収められています。

(2) ライセンスのインストール

評価ライセンスのダウンロードリンクは、DataKeeper のダウンロードリンクとは異なる URL としてメールに記載されています。このリンクから評価ライセンスをダウンロードしてください。

http://ftp2.steeleye.com/pickup/EVAL_XXXX_yyyymmdd

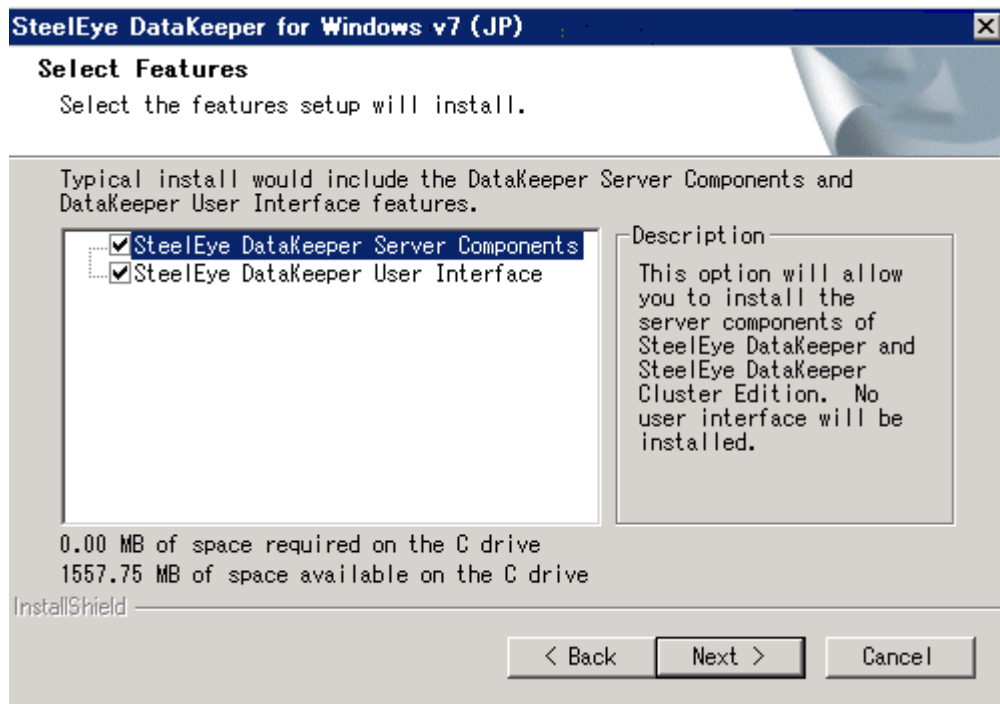
(上記 URL はサンプルです。正しい URL はメールをご参照ください。)

<u>Name</u>	<u>Last modified</u>	<u>Size</u>	<u>Description</u>
 Parent Directory		-	
 win_01-Jun-2009.lic	02-Apr-2009 08:57	140	

拡張子が `.lic` となっているファイルが評価ライセンスファイルです。上記ダウンロードリンクの例では `win_01-Jun-2009.lic` が評価ライセンスとなりますので、そのままダウンロードしてください。

②インストールの実行

DataKeeper のインストールセットアッププログラム (setup.exe) を実行し、ウィザードに従ってインストールします。



インストール時に、上記の画面が表示されます。

デフォルトでは、**SteelEye DataKeeper Server Components** および **SteelEye DataKeeper Use Interface** にチェックされています。基本的にはデフォルトの設定のままインストールをします。各チェック項目の意味は以下の通りです。

SteelEye DataKeeper Server Components

- SteelEye DataKeeper および SteelEye DataKeeper Cluster Edition のサーバーコンポーネントをインストールします。ユーザーインターフェースはインストールされません。

SteelEye DataKeeper Use Interface

- レプリケーションされたボリュームを管理する SteelEye DataKeeper ユーザーインターフェースをインストールします。

SteelEye DataKeeper ユーザーインターフェースおよびコンポーネントの機能は個別にインストールすることができ、必要に応じて後でインストールされなかった機能を追加することも可能です。

System configuration change prompt 

To continue installing and configuring your system for DataKeeper, the following changes are required:

- A firewall is configured on this server. Firewall exceptions to allow incoming connections on the following ports must be configured:
137, 138, 139, 445, 9999 and 10000 - 10025

- The Distributed Link Tracking Client service is set to auto start. It needs to be disabled.

Refer to the DataKeeper Administration Guide for more information.

Click YES to perform these changes in system configuration. Click NO to continue the installation without modifying the system configuration, however these changes need to be done later so that DataKeeper can operate properly.

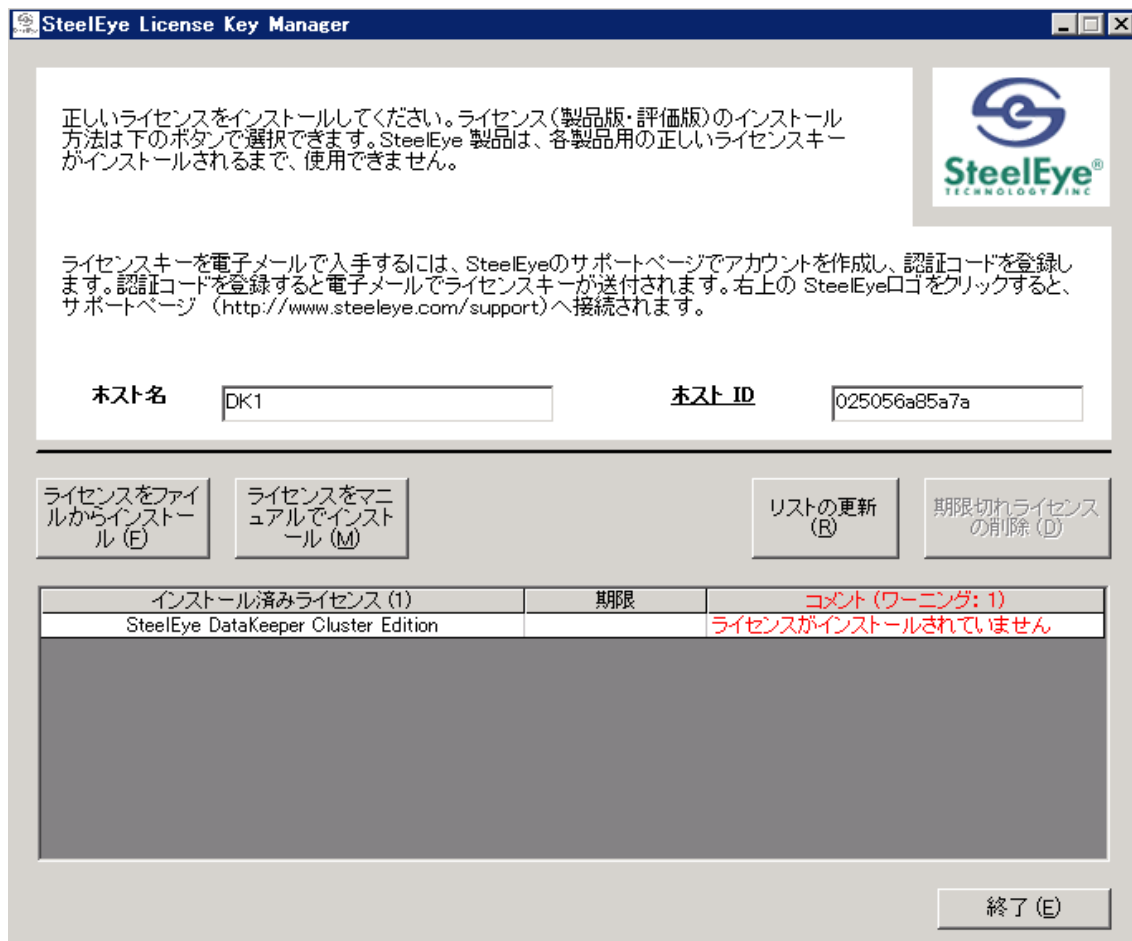


Windows 2008 上に DataKeeper をインストールしている間、インストーラで以下に記述されているシステム設定の変更を行うかどうかを聞かれます。インストーラでこれらの設定を行わなかった場合は、インストール完了後に手動で設定変更を行う必要があります。

- ・ Windows ファイアウォール – ポート 137, 138, 139, 445 , 9999 および 10000 から 10025 までをあける必要があります。
- ・ Distributed Link Tracking Client を無効にする必要があります。

ここで「はい」を選択すると自動的に上記の設定が行われます。

③ライセンスキーの認証

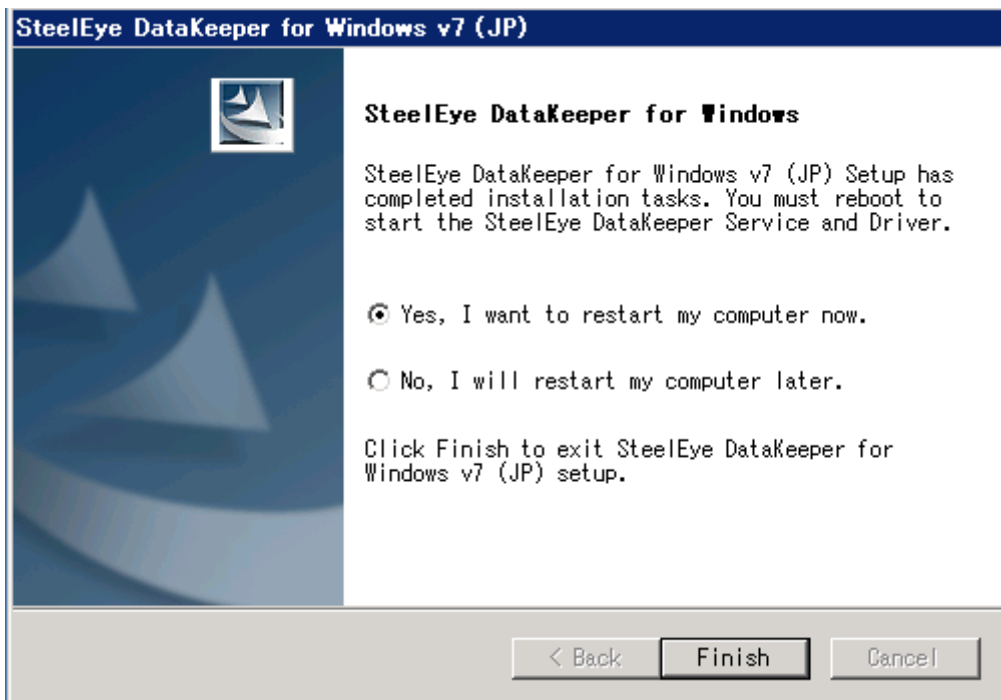


SteelEye DataKeeper のセットアップが完了すると自動的に SteelEye License Key Manager が起動します。

「ライセンスをファイルからインストール」または「ライセンスをマニュアルでインストール」を選択し、「ライセンス(ファイル)をインストール」を選択してください。

有効なライセンスがインストールされると、「ライセンスキーは正しくインストールされました」というダイアログが表示されます。

「終了」を選択すると以下の画面が表示されます。



Yes を選択して、サーバを再起動してください。後で再起動する場合は No を選択してください。

再起動後、DataKeeper 管理画面を起動し、ボリュームのミラーリング設定等を行ってください。ミラーリング設定に関する詳細な方法は、DataKeeper オンラインマニュアルの「ジョブの作成」または、「DataKeeper for Windows 管理ガイド」を参照してください。

以上